

1. 整備すべき道路のあり方

安全・安心を支える道路整備の推進



県民の生活を守り、経済活動を支えるため、紀伊半島という地形的特性に応じた道路防災機能の向上、交通安全の確保、構造物の老朽化対策に関する取組を推進します。

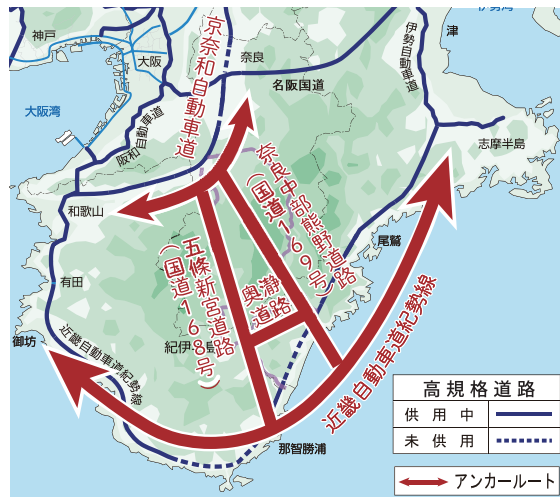
災害に強い道路整備を進めます

「紀伊半島アンカールート」の早期整備

- 南部地域における防災機能の向上及び地域活性化を図るとともに、紀伊半島全体にとっての道路ネットワークの代替性及び多重性を確保し、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等大規模災害への対応力の強化を図ります。

「紀伊半島アンカールート」とは

紀伊半島の骨格となる京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線、それを結ぶ五條新宮道路(国道168号)、奈良中部熊野道路(国道169号)の形が船の錨(イカリ:anchor(アンカー))の形に似ていることから呼称されています。



▲ 紀伊半島アンカールート

計画的な維持管理を実施します

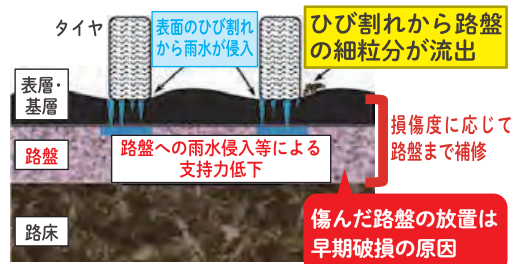
事後保全から予防保全への転換促進

- 道路施設の定期点検の結果を踏まえ、早期に措置をすべき施設は優先順位の高い施設から修繕を実施するとともに、管理コストの削減を図るため、橋梁長寿命化修繕計画等を見直し、予防保全型維持管理への転換を図ります。
- 舗装については、計画的な維持管理を行い、快適な道路空間を道路利用者に提供できるよう、路面損傷が著しい道路の計画的な舗装修繕により耐久性の向上を図るため、「ならの道リフレッシュプロジェクト」を実施します。

市町村への支援(垂直補完)

- 「奈良モデル」の一環として、市町村で管理する橋梁やトンネルの点検や修繕業務を県が受託して実施するなど、継続的に市町村を支援します。

1 舗装の耐久性向上



2 区画線の維持修繕



3 草刈りのメリハリ化



4 道路維持管理のDX



▲ 「ならの道リフレッシュプロジェクト」

暮らしを支える 交通安全対策を実施します

効率的かつ効果的な交通安全対策の推進

- 警察や市町村等の関係機関と連携しつつ、生活道路や通学道路等における歩行者等の安全を確保するため、「ゾーン30プラス」を設定する対策などの取組を進めます。



▲ ゾーン30プラスによるスムーズ横断歩道の整備(県道谷田奈良線(奈良市))